

## (1) ～だに = ～だけでも

【接続】 [辞書形]+だに

書き言葉的で、古い感じの言い方。

用例は「想像するだに」、「考えるだに」、「聞くだに」、「思い出すだに」程度。あまり聞かない言葉。  
日本人でも知らない人がいるほど。

- ① カッターナイフで首を切るなんて考えるだに恐ろしい。 
- ② 富士山の噴火など想像するだに恐ろしい。
- ③ あの人の人、大嫌い。顔も見たくないし、声を聞くだに吐き気がする。
- ④ 2 1 3 4 死ぬほど恥ずかしいことって誰でも一つや二つ経験しているものなのではないだろうか。
- 1 だに                      2 思い出す                      3 赤面する                      4 ような 

## (2) ～だに～ない = ～さえも～ない

古い表現。現代ではほとんど使われていない。

用例は少なく、「微動だにしない」、「予想だにできなかった」、「想像だにできなかった」、「夢にだに思わなかった」程度。

- ① カブトムシが死んでしまったようだ。微動だにしなくなった。 
- ② まさか MLC48 と共演できるなんて夢にだに思いませんでした。
- ③ twitter で自分のつぶやきが炎上してしまうなんて予想だにできなかった。
- ④ あの悪ガキが会社の社長になるなんて、1 4 2 3 しなかった。
- 1 子ども                      2 想像                      3 だに                      4 のころは 

恐ろしい おそろしい、 噴火する ふんかする、 吐き気がする はきけがする  
 恥ずかしい はずかしい、 赤面する せきめんする、 微動 びどう、 共演する きょうえんする  
 炎上する えんじょうする、 悪ガキ わるガキ